



# まちの話題

問 秘書広報課：☎0869-24-7095

## 地域で高齢者を見守るために

12月13日、瀬戸内市は株式会社天満屋ストアと、高齢者の地域見守り活動などを円滑に実施することを目的とした「高齢者地域見守り活動に関する協定」を締結しました。

株式会社天満屋ストアは社会貢献活動の一環として、完全子会社の有限会社ハッピーバラエティに業務委託し、県内全域で移動スーパー「とくし丸」を運営しています。この協定を締結したことにより、とくし丸が個別に訪問している家だけでなく、市内を移動中に高齢者の異変に気付いた際にもその情報を市に連絡してもらうこととなりました。

近年の高齢化により、高齢者の安全確保に向けた見守り活動は重要な課題です。今後も民間事業所との連携を図りながら、地域福祉の向上に努めていきます。

### 高齢者地域見守り活動に関する協定



協定調印式の様子

## 宝くじ助成金で防災資機材を整備

宮下町内会自主防災会が、令和3年度の一般財団法人自治総合センター宝くじ助成金(地域防災組織育成助成事業)を活用し、防災用テントやマット、発電機、仮設トイレなどの防災資機材を整備しました。今後さまざまな自主防災活動で活用していくこととしています。

この宝くじ助成金(地域防災組織育成助成事業)は、自主防災組織を結成している団体であれば利用することができます。申請方法や制度の詳細などについては、危機管理課までお問い合わせください。

☎0869-22-3904

### 地域防災組織育成助成事業



助成金を活用して整備された発電機やテント



## 地域住民の安心・安全を守るために

このたび、瀬戸内市消防署牛窓分駐所の救急車を更新しました。

新しい救急車は、従来のものよりも室内空間が広いためスムーズな救急活動が可能で、ウイルスや菌を抑えるための除菌装置を搭載しており、搬送する傷病者や救急隊員への感染を防止します。さらに、心肺停止の傷病者に対して、正確に絶え間ない胸骨圧迫を可能にする自動式心臓マッサージ器など、最新の高度救命処置用の資器材を装備しています。

また、この車両は四輪駆動方式を採用。不整地などの悪路走行を可能にし、大規模な災害が発生した場合には被災地への救急応援出動を行うこともできます。

市民の安全・安心を守るため、傷病者を一人でも多く救うことができるよう本車両を役立てていきます。

### 高規格救急車を更新配備



更新配備された高規格救急車(車内の様子)

## 和太鼓とチアリーディングで子どもたちに元気を!

高校生の保育園訪問

11月15日、岡山学芸館高等学校の和太鼓部とチアリーディング部の部員らが市内保育園を訪れ、園児たちに和太鼓の演奏やチアリーディングの演技を披露しました。

コロナ禍で多くのイベントが中止になってしまった園児たちを元気付けようと、和太鼓部、チアリーディング部合わせて約70人も部員が参加。和太鼓部の演奏では、太鼓から響く大きな音に驚きながらも、音に合わせて手を叩いたり体を揺らしたりして、園児たちは迫力のある演奏を楽しんでいました。また、続いて行われたチアリーディング部の演技では、プロさながらのアクロバティックな動きに園児たちの目はくぎ付けに。軽やかに宙を舞い、笑顔で次々とポーズを決める姿に、会場は大きな拍手に包まれました。



アクロバティックな演技は圧巻



迫力ある和太鼓の演奏

## 色鮮やかに咲いた菊を楽しむ

第35回備前長船菊花展

長船町公民館の特設会場で開催していた「第35回備前長船菊花展」が、11月16日に無事閉幕しました。

昨年に引き続きコロナ禍での開催のため、会場では消毒や検温などの感染対策を実施。開催期間中は、愛好家の皆さんが出品した大小色鮮やかな菊(約800鉢)を見ようとたくさんの方が会場を訪れ、見事に咲いた菊をカメラに収めるなどして楽しんでいました。

また、11月16日には表彰式が行われ、受賞者へ農林水産省農産局長賞や岡山県知事賞などの名誉ある賞が送られました。



菊花展会場の様子

## い つまでもお元気で

100歳を迎えた高齢者をお祝い

11月25日に満100歳を迎えた高原孝子さん(長船町)のお祝いに、武久顕也市長らが訪問し、お祝い状などを贈呈しました。

浅口市金光町で6人きょうだいの三女として生まれた高原さんは、結婚により長船町福岡へ移り住み、娘さん2人に恵まれました。子どものころは弟と木登りをして遊んだり、女学校時代はバレーボールに励んだり活発で運動が得意な子だったそうです。現在は介護サービスを利用しながら、週1回市外に住む長女が訪問するなどして、家族に大切にされながら自宅でゆったりと過ごしています。

長寿の秘訣は「くよくよせず、一日一日をしっかり生きること」。高原さん、これからもますますお元気で過ごしてください。



ご家族に見守られながらお祝い状を受け取る高原さん(写真前列右)